

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p><b>つながり(支えあい)</b></p> <p>ふれあいいきいきサロン、小地域生活支援ネットワーク活動の実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンへの参加依頼</li> <li>・小ネット定例会への参加依頼</li> </ul>  	<p>●脇町地区「サロン交流会」の開催 21サロン36名 平成30年10月19日(金) 穴吹農改センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調理実習(高血圧症予防メニュー) 美馬市栄養士、ヘルスマイト</li> <li>○講話「塩分の取り方について考えて見よう」 美馬市保健師</li> <li>○簡単健康体操</li> <li>○情報交換会、発表</li> </ul> 	<p>ふれあいいきいきサロン交流会では各自のサロンに持ち帰ることができる内容として、高血圧症予防メニュー、調理方法、日常生活での塩分摂取を考える講話、出前講座資料等を、情報交換会に盛り込んだ。</p> <p>いきいきサロン同士の情報交換を行う事で、顔なじみの関係性ができつつある。さらに、サロンが地域のつながりを育てていることも認識でき、リーダーとしての自覚にも繋がっている。</p>  <p>しかし、サロンの担い手がない、参加者の減少等課題も多く聞かれた。</p> <p>交流会には、約半数のサロンリーダーが参加してくれた。<b>全地区参加を目指すと共に、課題解決の協議ができる場へと勧めていく。また、誰もが参加できる居場所としてのサロンづくりを進めて行く。</b></p>
<p>サロンへの参加依頼</p> 	<p>●別所上サロン参加 実行委員4名 地域住民36名 平成30年11月14日(水) 別所上集会所 食事会、紙芝居、実行委員との意見交換会。</p> 	<p>地元の参加者からは、外出の機会ができ、サロンを楽しみにしているとの意見やサロン担い手からは催しのネタに困っている等の意見があった。</p>  <p><b>引き続き、いろんな形式のサロンに参加し、情報収集を重ねて行く。</b></p>
<p>小地域生活支援ネットワーク活動定例会への参加依頼</p>	<p>●梓東南小地域生活支援ネットワーク活動定例会参加 平成31年3月27日(水) 梓東公会堂 11:00~</p>	<p>小地域生活支援ネットワーク活動の見守りから生活支援までの実情を知るために、各地域の小ネット活動定例会への参加が必要である。<b>小地域生活支援ネットワーク活動は、地域によって活動内容や認識に違いはあるが、高齢社会を迎え支え合う地域づくりには、必要不可欠な活動として推進・支援していく。</b></p>
<p>(環境)</p> <p>「ペットボトルキャップ回収運動」 啓発ポスター作成</p> 	<p>●平成30年8月16日(木) 江原中学校にポスター原画依頼。 ●平成30年8月27日(月) 江原中学校より原画を受け取る。 原画作者:江原中学校 佐野 雅 さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年9月定例会からポスターを作成。</li> <li>●平成31年3月実行委員、幼・小・中・高等学校へポスター配布</li> </ul> <p>◇エコ活動・環境保護が広がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年10月25日(木)までのエコキャップ重量 200kg</li> <li>●平成31年 2月21日(木)エコキャップの仕分け エコキャップ重量 70 kg</li> </ul>  	<p>エコ活動から始まった、ペットボトルキャップ回収活動だが、変更となった内容もあり、協議を重ねて<b>新ポスターを作成</b>することができた。</p> <p>集まってくるエコキャップの中には、混ざり物が多く分別作業を余儀なくされているなど課題もある。</p> <p><b>ポスターの配布(分別の徹底を周知)をしながら、エコ活動の継続活動を進めて行く。</b></p> <p>平成30年4月から平成31年2月末で <b>エコキャップ 270 kg</b> が、集まった。</p> 



取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p><b>(防災・防犯)</b></p> <p>・<b>あんしんカードの見直し</b>                      高齢者同士の見守りの重要性                      民生委員・児童委員との結びつき                      自治会長らとの関わり                      等、地域の関係性について協議した。</p> <p>・<b>防災研修</b></p> 	<p>●平成30年12月定例会から<b>あんしんカードの見直し</b>を開始                      あんしんカードを活かす配布方法を協議中。</p>  <p>●<b>第3次地域福祉活動計画実行委員会防災研修</b>                      平成31年1月24日(木) 徳島県西部防災館 委員4名参加</p> 	<p>第2次地域福祉活動計画実行委員会にて作成し、全戸配布や民生委員・児童委員に協力依頼したあんしんカードだが、活用されていない状況を鑑み、<b>あんしんカードの見直し</b>に至った。                      今回は、<b>防災・防犯、つながり(支え合い)の共通項目として、あんしんカードを活かすべく協議を重ねている。</b></p> <p>美馬市(脇町)はこれまで災害被害も少なく、防災意識の低さが懸念されている。実行委員も防災研修等で研鑽を積みながら、<b>自主防災活動の活性化と防災・防犯意識を高めるべく、活動内容を検討していく必要がある。</b></p>
<p><b>(けんこう)</b></p> <p>・<b>認知症の理解、認知症研修へ参加</b></p>  <p>「ウォーキング大会」と<b>ノルディックウォークの啓発</b></p>  	<p>●<b>オレンジカフェ等への参加</b></p> <p>○平成30年5月24日(木) 委員1名 参加者43名                      認知症の家族の介護を通じた講話と各種相談会、みまカフェ</p> <p>○平成31年2月18日(月) 委員4名                      笑いヨガ(実践)と各種相談、カフェ</p> <p>○平成30年12月20日(木) 定例会にて                      包括支援センターと認知症支援ガイドブックについて協議</p> <p>●<b>脇みちをあるこう ウォーキング大会</b>                      平成31年2月24日(日) 参加者 87名</p> <p>○ノルディックウォーキングの啓発</p> 	<p>認知症高齢者の増加により、認知症の理解と地域の支え合いが必要となっている中で、認知症を理解するため、また地域でどのような活動があるのかを知るために、認知症関係の研修に参加している。  <b>地域住民の認知症の理解を深め、認知症になっても地域で安心して暮らしていける支え合いに向けた取組を今後検討していく。</b></p>  <p>健康増進のためノルディックウォーキング啓発とウォーキング大会を開催した。晴天に恵まれ、参加者全員がそれぞれのペースで完歩することが出来た。</p> <p><b>通年に比べ、幼児から視覚障がい者までと参加者の層が広がっている。ウォーキング大会(ノルディックウォーキング)等で、定期的な運動習慣の推進を進めていく。</b></p> 